

# ひとが咲くまちづくり実現へ

## 大谷 明ひたちなか市長2期就任インタビュー

2023年11月に行われたひたちなか市長選挙、大谷明氏が再選を果たした。2期目の抱負について「1期目の取り組みをベースとして、社会情勢や街の状況を見ながら、さらに充実させていきたい」と力を込める。建設事業では、雨水幹線整備などの治水対策や本庁舎、中央図書館をはじめとする老朽施設対策を着実に進めていくほか、企業誘致や工業団地の確保について関係機関と連携し、働きかけていく。市が掲げる『ひとが咲くまち』の実現に向けた取り組みを聞いた。

### 2期目の抱負について

市民の皆さま一人一人の将来を担う責任と使命を改めて認識し、市民の声にまっすぐに向き合いながら、公平・公正で身正しく感じられる市政運営に努めていきます。

建設関係では、一つの建物だけでなく、社会情勢や街の現状を見ながら、市民の皆さまと協力して翼に取り組んでまいりたいと思っています。

これまで多くの方が抱いていた街の価値を守り、私たちの世代で新たな価値を生み出しながら、しっかりと次の世代へつなげていきたいと思っています。ひたちなか市への誇りや愛着、共感が高まり、さらに選ばれる街となるよう、全力で本市の発展に尽くしてまいります。

### 主な建設事業について

【治水対策（雨水幹線整備）】

### 那珂川緊急治水対策プロジェクト

雨水幹線整備事業では、本市の治水計画である「中九川流域における浸水被害軽減プラン」に基づき、国の補助金を活用しながら事業を進めているところだ。全体計画延長6308mに対して、23年9月末時点で1413mが完了しております。

現在も整備が進んでおり、本年度末には延長2062m、進捗率は約33%に上る見込みです。今後市民の安全安心を守るため、計画的に事業を進め、事業の早期完成を目指してまいります。

## インフラ整備を充実

### 新たな施策への取り組み

【企業誘致や新たな工業用地の確保】

北関東自動車道と全線開通や茨城港沿岸部地区の整備を進め、さらなる産業流通インフラの充実を推進してまいります。



（おおたに・あきら）1973年3月2日生まれ。49歳。ひたちなか市出身。中央大学経済学部卒業後、読売広告社や松下政経塾を経て、2011年に県議会議員、18年11月ひたちなか市長に就任。趣味は落語や書道、サックス演奏など。座右の銘は小学生の頃に先生が文集に寄せた『他を燃やさんとすれば自ら燃え、他を照らさんとすれば自ら光らなければならぬ』を掲げる。休日には子どもと遊ぶのが楽しみ。



初登庁では2期目の決意を新たに

プロジェクトについては、那珂川無堤部の築堤を確実に進めていきます。

【老朽施設対策（新中図書館、本庁舎建て替え）】

本市が保有する施設は、全体の半数以上が建築後40年以上が経過しており、限られた財源の中で適正な施設の保全・維持管理を行うべく、老朽施設の課題となっております。

公共施設全体の状況を客観的分析し、全体方針の策定や改修時期の標準化を図っていくために、本年度から新たに資産経営課を設置しました。

限られた財源の中で、公共施設をよりよい形で次世代に継承していくため、維持管理の効率化や施設保有量の適正化に向けた施設保全計画の策定に取り組んでいきます。

中央図書館の整備については、19年に基本計画を策定して検討を進めてきましたが、感染症拡大の影響による社会情勢の激変や物価高騰により、整備計画の見直しが必要が生じました。本年度内に新しい図書館と、新しい整備候補地を定めたいと考えています。

【新市庁舎建設】

新市庁舎建設には、近隣市町村の事例を参考に、初登庁では2期目の決意を新たに

と、約100億円が必要と言われています。今後の取り組みを進め、26年度に始動する中期総合計画に位置付けられるよう、検討を進めてまいります。

【東根高場線4車線化事業】

18年度から工事に着手した東根高場線4車線化事業については、おおむね順調に進んでいます。現在は本事業の基幹工事である橋梁区間の橋脚設置に向け、鋭意準備を進めています。24年度ごろに新橋が完成する予定となっています。

### 建設業者に向けて

【地元業者への工事発注・入札】

本市の公共工事については、地域経済や雇用を支える重要な事業であることから、地元業者の受注機会を優先してまいります。

【地域の守り手として】

本市では、現在15の事業所や団体など災害時応援協定を締結しております。非常時に迅速な対応活動に対する協力や各種資機材の提供、物資の輸送など優先的にご提供いただけます。

【大変心強いもの】

建設関係者の皆さま方におかれましては、災害時における協力をお願いするとともに、引き続き防災行政についてご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

景に、ひたちなか地区への企業立地が順調に進んでおります。22年3月には、JX金属が設備投資額2000億円規模、従業員数500人以上となる新工場建設を決定しており、さらなる雇用の創出が期待されます。

一方、新規企業の進出や市内企業の移転拡張の受け皿となる工業用地の確保は喫緊の課題となっております。そのため本市でも新たな工業用地の早期確保に向けて、さまざまな手法などについて検討を行うとともに、国や県をはじめとする関係機関と調整を進めてまいります。

工業用地の確保については、本市が持続可能な街として、さらなる発展を続けていくための重要な取り組みであると考えています。

## 社会資本整備を通して、ひたちなか市の発展に貢献いたします



## ひたちなか市建設業協同組合

ひたちなか市長堀町2丁目14-8 TEL 029-273-2096 FAX 029-274-6420

- |           |           |           |           |           |            |               |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|---------------|
| (株)秋山工務店  | (有)伊藤建設   | 河又土建工業(株) | (株)澤畑工務店  | (株)大栄建設   | (株)中島工務店   | (有)古川工務店      |
| (株)天海建設   | (株)井上工務店  | (有)栗田組    | (株)信濃造園土木 | 高倉建設工業(株) | (株)ニシノグループ | 皆神建材          |
| 天海工業(有)   | 打越建設(有)   | 栗田工務店     | (有)勝建     | (株)田本工務店  | 西野工業(株)    | (株)八木組        |
| 雨川開発工業(株) | (株)大須賀工務店 | 黒沢建設      | (株)上肥     | (有)椿山建設   | 根本工務店      | (株)矢口         |
| (株)有路工務店  | (株)大曾根建設  | 黒沢工業(株)   | (株)真栄工業   | 東昌産業(株)   | 橋本建設(株)    | (株)ユニバーサル建設工業 |
| 飯塚石材店     | (有)太田建設工業 | 興陽建設(有)   | 菅原建設(株)   | 東水建設(株)   | (株)蓮田工務店   | 横建工業(株)       |
| (株)磯良工務店  | (株)鬼沢建設   | 小林建設工業(有) | ストウ工業(株)  | (株)トーホー工業 | 日立土木(株)    | 横信建材工業(株)     |
| (株)井滝建設   | (株)亀山工務店  | (有)齊藤興業所  | 砂押工業(株)   | トキワ建設(株)  | (有)二川組     | (有)よこすか建設     |
| (有)井出野建設  | (株)川崎建設   | (株)最北建設   | 関根建設      | 戸田工業(株)   | 双葉工業(株)    | (有)横須賀工務店     |

## ひたちなか市指定管工事業協同組合

理事長 齋藤 真木男  
副理事長 山崎 剛  
副理事長 根本 哲也

外組合員一同

茨城県ひたちなか市東大島3-10-17  
電話 029-273-8739(代)  
FAX 029-275-0941

## ひたちなか市造園事業協同組合

理事長 砂押 一成 (株)砂押園芸

- |           |             |
|-----------|-------------|
| (株)市毛造園   | (株)松風園      |
| (株)海野ガーデン | (株)砂押園芸     |
| (株)神永造園   | (有)照山造園     |
| (有)川崎造園   | (株)都市緑地サービス |
| (株)信濃造園土木 | (株)和香園      |
| (有)十文字造園  |             |